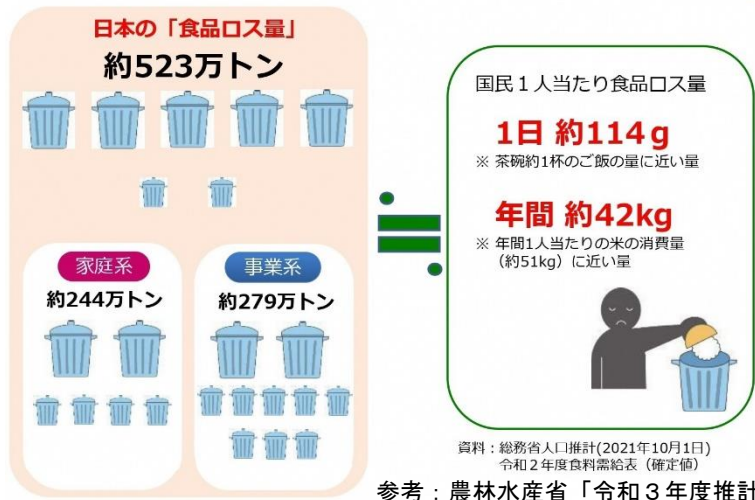


## ○「食品ロス(本来食べられるのに捨てられる食品)」の現状

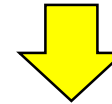
- ・全国の食品ロス量（令和3年度推計）は、約523万トンであり、国民一人ひとりが毎日、茶碗約1杯のご飯に近い量（約114グラム）を捨てていることになる。
- ・食品ロスの約半分が家庭から、約半分が事業に伴って発生している。

日本の食品ロスの状況（令和3年度）



## ○食品ロス削減運動の実施

- ・市町村、消費者団体、商工業及び製造業等の代表の委員及び公募委員で構成する「ごみゼロやまがた推進県民会議」を組織し、家庭や職場でごみの削減に取り組む「ごみゼロやまがた県民運動」を展開
- ・平成28年度から、県民運動展開方針の柱の一つとして食品ロスの削減運動を位置づけ、家庭においては食品・食材の使い切りを、職場においては宴会での料理の食べきり（外出時の食べきりキャンペーン）等の普及啓発を実施



## 家庭系食品ロス対応

### ○「高校生環境にやさしい料理レシピコンテスト」

- ・高校生等を対象として家庭内の食品ロスの削減やごみ減量に結びつく料理のアイデアを広く募集(6/1(木)～7/26(水))
- ・県HPや「やまがた環境展2023」(10/14(土)・15(日))等で人気投票を実施し(10/5(木)～10/25(水))、「人気レシピ」を選定。「人気レシピ集」を作成・配布し、県HPにも掲載



### ○フードドライブ普及促進事業

団体や職場等で気軽にフードドライブが実施されるよう、研修会やフードドライブ活動のPRを実施



- 6～12月 「フードドライブ研修会」開催  
(座学:8回(県内4地域×2回)、実地:4回)
- 9・11月 内陸・庄内の大型商業施設で、  
パネル展示・ミニ講演会開催

### ○県庁舎・全総合支庁舎でのフードドライブ[拡充]

県職員や県民を対象に、フードドライブを実施

- <今後の実施予定>
- 10/18(水)・19(木)：最上総合支庁
  - 10/25(水)・26(木)：庄内総合支庁
  - R6.1～2月：村山・置賜総合支庁、県庁舎



(令和5年度県庁舎フードドライブ)

## 10月は食品ロス削減月間

## 事業系食品ロス対応

### ○「もったいない山形協力店」登録事業

食品ロスの削減等に取り組む飲食店、宿泊施設、小売店・スーパーを「もったいない山形協力店」として登録し、環境にやさしいお店として県HPで紹介することにより、事業者の取り組みを支援

(R5.8月末現在)

種類	飲食店	宿泊施設	小売店・スーパー	合計
事業所数	192	64	794	1,050



### ○食べきり運動の実施[新規] (10月～飲食店、12月～宿泊施設を追加)

小盛メニュー、食事量の調整、持ち帰り等の各店舗の取り組みを見える化するための啓発POPを「もったいない山形協力店」に配付し、飲食店・宿泊施設での料理の食べきりを呼びかける



### ○「てまえどり」の啓発(10月～)

- ・「てまえどり」とは、買ってすぐに食べる場合には、商品棚の手前に並べられている販売期限が近い商品を積極的に選ぶ行為
- ・「てまえどり」の啓発POPを「もったいない山形協力店」に配付し、食品小売店等での「てまえどり」の呼びかけを促進

